

【イプロス限定配布】

土木・インフラ点検における 水中ドローン活用事例集

～最新技術で実現する、安全で効率的な点検手法～

発行：株式会社ジュンテクノサービス
2018年より水中ドローン利活用推進 | 6年以上の実績

一步先の未来へ

会社名 株式会社ジュンテクノサービス

代表者 引野 潤

本社 埼玉県川越市大塚1丁目6-27

設立 2017年 1月

資本金 1,000,000円

従業員数 13名 (2025年 10月現在)

支社 福岡市城南区松山2丁目7-22-1 1F

札幌市白石区中央2条5丁目10-14 1F

事業内容 建設業・電気工事事業

(建設業許可 埼玉県知事許可 (般-2) 第74013号)

ジュンテクノサービス代表取締役

引野 潤 | Jun Hikino

株式会社ジュンテクノサービスは、革新的な技術と持続可能な未来づくりを通じて、地域社会やお客様に豊かで安心できる暮らしを提供することを目指しています。

「一步先の未来」を常に見据え、誰も挑戦していない新しい分野へ果敢に挑戦し続けています。

規模の大きさにとらわれることなく、スピードと柔軟性を強みとし、独自の価値を創り出せると信じています。新しい挑戦と基盤となる事業の両輪で、これからも信頼されるパートナーとして、皆様の生活を支えるために尽力してまいります。





Momoko Sasaki

取締役

佐々木 桃子

2017年より創設メンバーとして参画し、現在は取締役として会社全体をフォローしています。新規事業や組織づくりを支えながら、より良い未来に向けた挑戦を続けてまいります。



Masaki Takahashi

ドローン事業部
業務担当

高橋 正起

4年前の入社以来、水中ドローンを活用した建設物調査・点検業務に従事しています。新たな技術を次の世代へ受け継ぎ、社会に残していくことを使命として取り組んでいます。



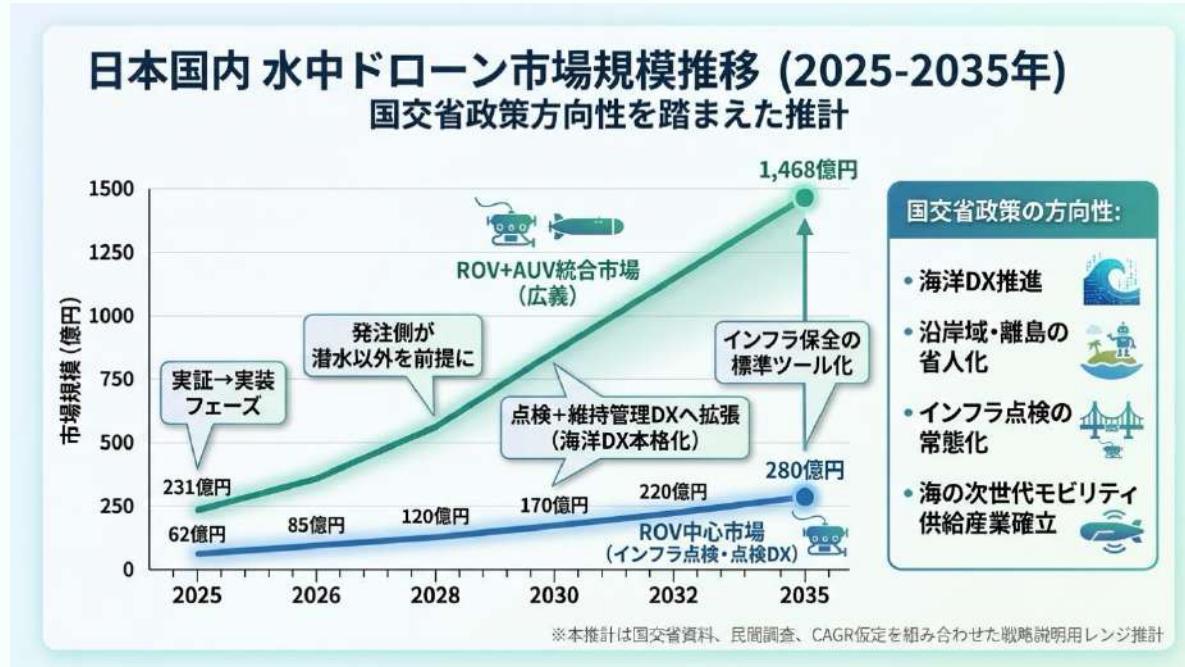
Maki Umehara

ドローン事業部
スーパーバイザー兼 国内修理担当

梅原 麻妃

FPVドローンレーサー日本代表としての経験を活かし、水中ドローンスクールの講師を務めています。国内修理部門の担当や物販販売のスーパーバイザーとして、現場と社内の両面から事業を支えています。

水中ROV/AUVの市場について



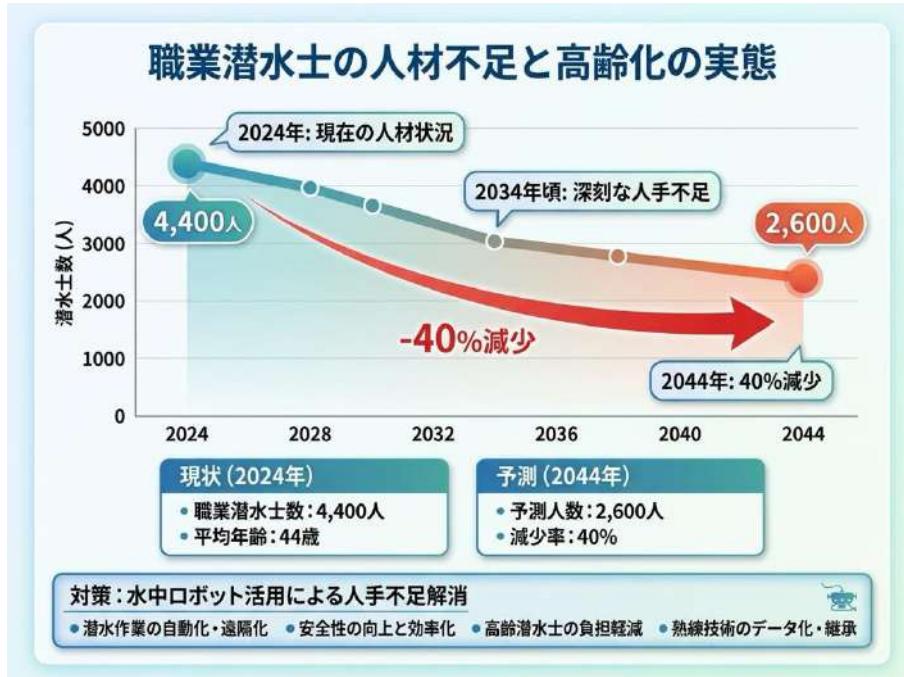
市場規模の成長予測

ROV中心市場(インフラ点検用途)は、2025年の62億円から2035年には280億円へと約4.5倍に拡大する見通しです。一方、AUVを含む統合市場では、2025年の231億円から2035年には1,468億円へと約6.4倍の成長が予測されています。

・国交省データ: ROV 2025年62億円、年平均成長率22-34%

・国交省データ: AUV+ROV 2024年231億円→2035年1,468億円(CAGR 18.3%)

なぜ今、水中ドローンが必要なのか (1/3)



課題1：潜水士の確保が困難化

1. 深刻な人材不足と高齢化の実態

全国の職業潜水士数: **約4,400人**
(厚生労働省 職業情報提供サイトより)

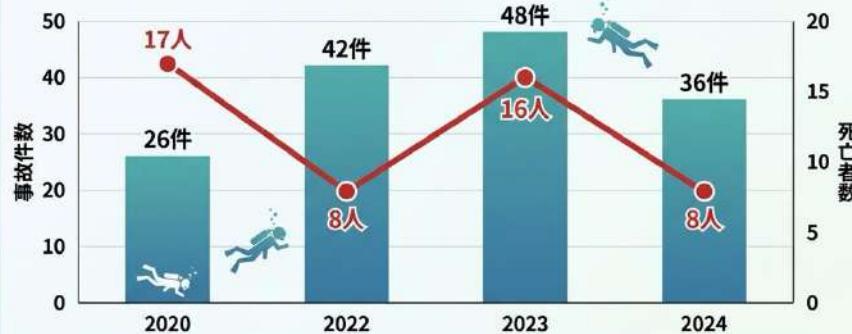
平均年齢: 44歳
(日本潜水協会調査)

20年後の予測: **約2,600人まで減少**
(日本潜水協会推計)

つまり、現在でも限られた人材が、**今後20年間で約40%減少する見込み**です。特に50歳以上の潜水士が多数を占めており、若手後継者の確保が極めて困難な状況となっています。

なぜ今、水中ドローンが必要なのか (2/3)

潜水事故の発生状況 (2020-2024年)



2020年

- 事故件数：26件
- 死者：17人

2023年

- 事故件数：48件
 - 過去10年で2番目
- 事故件数：36件
 - 死亡・行方不明：8人 (22.2%)

データソース・注釈

※本データは関係機関の公表資料に基づき作成。死亡・行方不明者の割合は事故件数に対する比率。*

課題2：安全面のリスクの顕在化

1. 潜水事故の発生状況(全体統計)

年間潜水事故の推移

2020年: 事故件数26件、死亡者17人

2022年: 事故件数42件、死亡者8人

2023年: 事故件数48件(過去10年で2番目に多い)

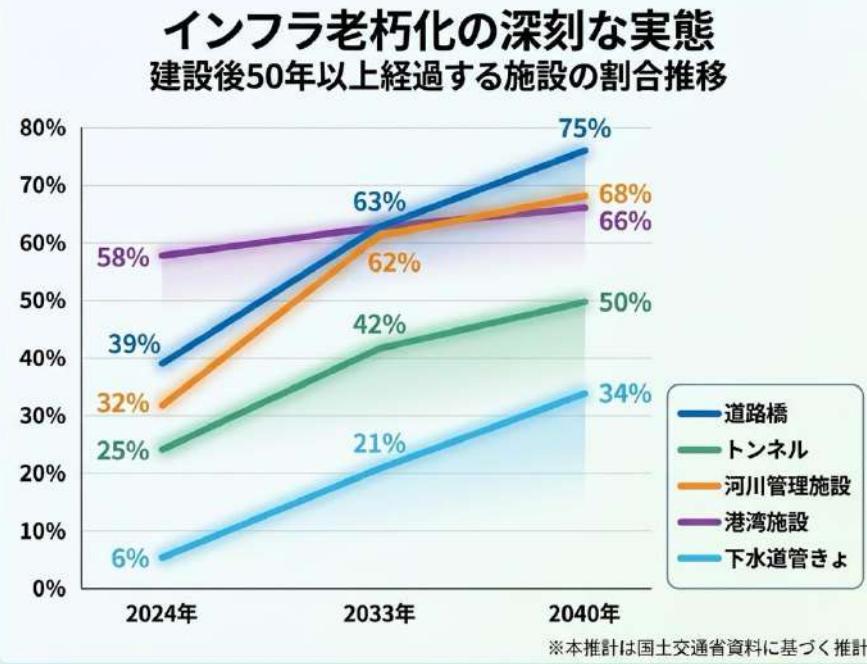
2024年: 事故件数36件、死亡・行方不明8人 (22.2%)

潜水作業は、水中という特殊環境下で行われる極めて危険性の高い作業です。特に閉所・狭隘部での作業は、具体的な統計データが示す通り、深刻な安全リスクを伴っています。

●具体的な事故事例 (厚生労働省 労働災害統計より)

ダム取水ゲート点検中の事故、港湾土木工事中の死亡事故、防波堤築造工事での事故、河川護岸工事での急浮上事故など

なぜ今、水中ドローンが必要なのか (3/3)

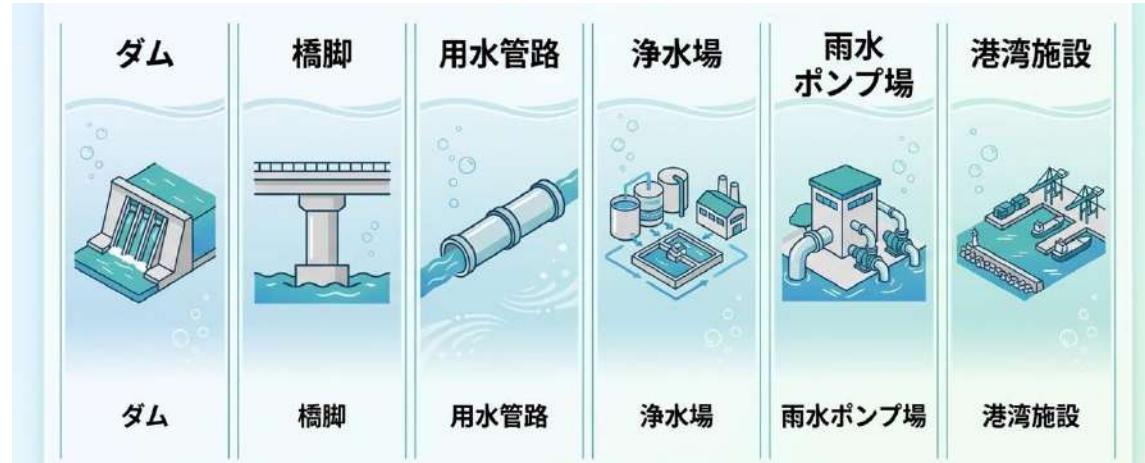


課題3：長期的な劣化追跡の必要性

従来の潜水士による目視点検や簡易的なスケッチ、文字記録、個人の主觀に依存した判定から、現代は以下の様な内容が求められている。

- 写真・動画による客観的証拠
- デジタルデータでの保存・共有
- 3次元モデルとの統合
- AI解析による定量的評価
- 複数時点のデータ比較による劣化速度の算出

株式会社ジュンテクノサービスの実績



2018年から水中ドローンの活用を推進 | 土木・インフラ分野で6年以上の実績

- NETIS登録技術（国土交通省認定）
- 橋梁点検支援技術カタログ掲載
- 全国対応（本社：埼玉、営業所：福岡・札幌）
- 7つの主要分野で実績多数

水中ドローンを活用した 洗掘調査・水深マッピング・漏水検査

新技術情報提供システム（NETIS）

**水中自航型ロボットカメラ(水中ドローン)による
水中設置物の保全点検技術**

NETIS登録番号：KTK-21000-2A

点検支援技術性能力タログ

**水中自航型ロボット(水中ドローン)による
橋梁の洗掘点検支援技術**

技術番号：BR030060-V0125

技術登録実績 1) NETIS登録技術（国土交通省認定）

NETIS登録技術 公共工事での適用が可能

NETIS登録番号：KTK-21000-2A

技術名称：水中自航型ロボットカメラ(水中ドローン)による
水中設置物の保全点検技術



海洋工事等における水中構造物の調査点検



各種施設の管路内等における狭小水中箇所の調査点検



浄水場内および配水池等調査点検



護岸工事の河岸状況や水際部の再生状況調査



河川橋脚水中部の点検撮影、クラック視認・洗掘の確認

NETIS登録番号：KTK-21000-2A

技術名称：

水中自航型ロボットカメラ(水中ドローン)による水中
設置物の保全点検技術

公共工事での適用が可能

- 海洋工事等における水中構造物の調査点検
- 各種施設の管路内等における狭小水中箇所の調査点検
- 浄水場内および配水池等調査点検
- 護岸工事の河岸状況や水際部の再生状況調査
- 河川橋脚水中部の点検撮影、クラック視認・洗掘の確認

2Dイメージングソナーを使用した計測・洗掘調査

基本構成



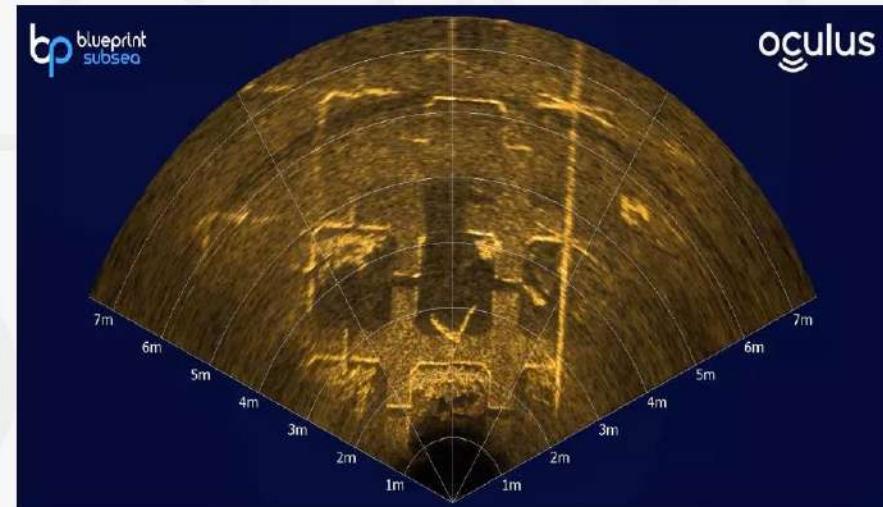
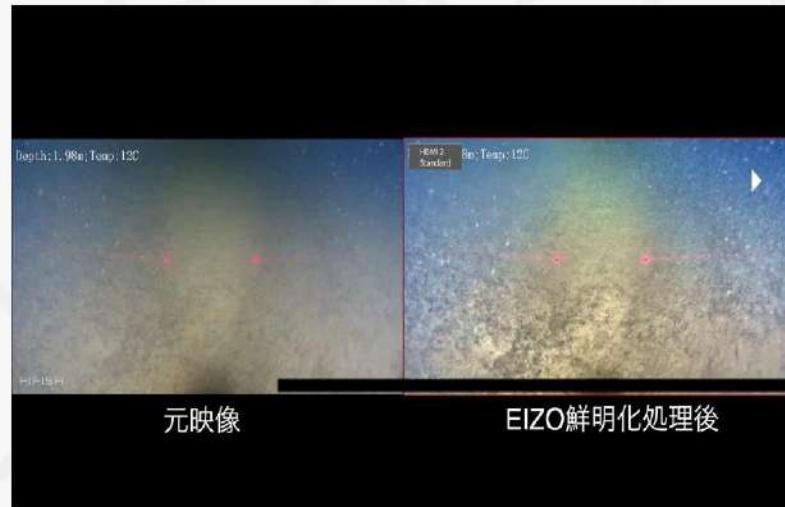
水中ドローンの基本構成



2Dイメージングソナーを搭載した水中ドローン

濁度の高い環境下での撮影手法

濁度の高い環境下では光学カメラ映像の視界が低下し、水中部の状況把握が困難となります。弊社では2Dマルチビームイメージングソナーや画像鮮明化装置を用いる事で、そうした悪環境下での運用に対応しています。



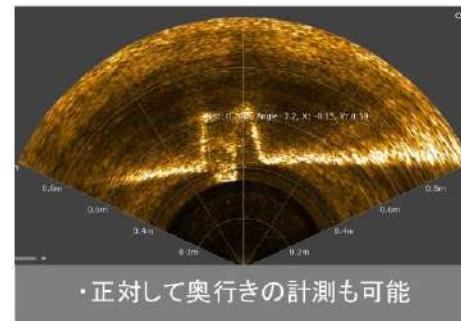
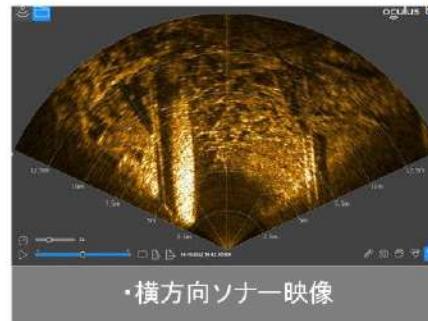
2Dイメージングソナーを使用した計測・洗掘調査

イメージソナーによる調査では、ソナー映像の取得と計測が行え、ソナーの方向やレンジを変更してダムの堤体から管内のような狭隘部まで運用可能

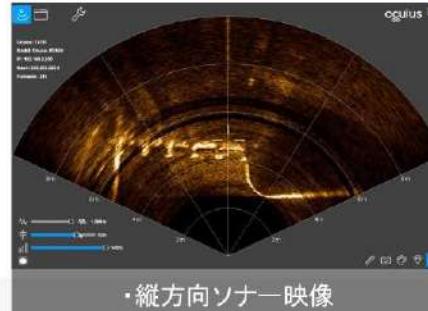
- ・横方向：平面図のイメージで対象を撮影および計測
- ・縦方向：断面図のイメージで対象を撮影および計測



横方向でのソナー計測



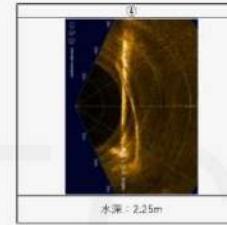
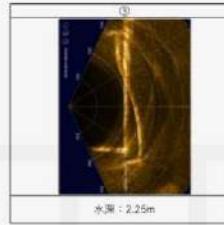
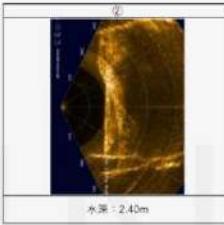
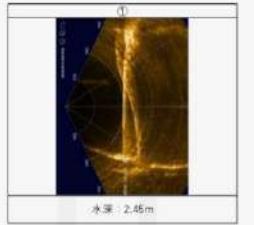
縦方向でのソナー計測



縦方向のソナー計測では、機体を横方向に90度回転させて撮影

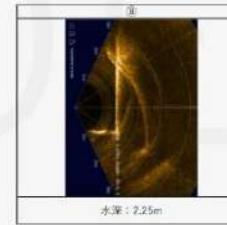
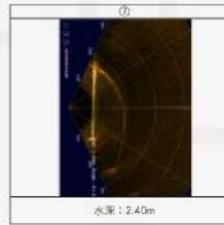
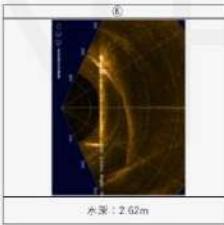
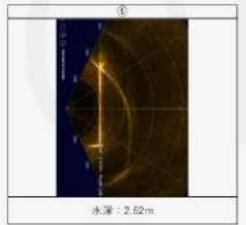
2Dソナーを使用した橋脚の洗掘調査

水中自航型ロボット(水中ドローン)による橋梁の洗掘点検支援技術_新ましもり橋(下り)計測結果



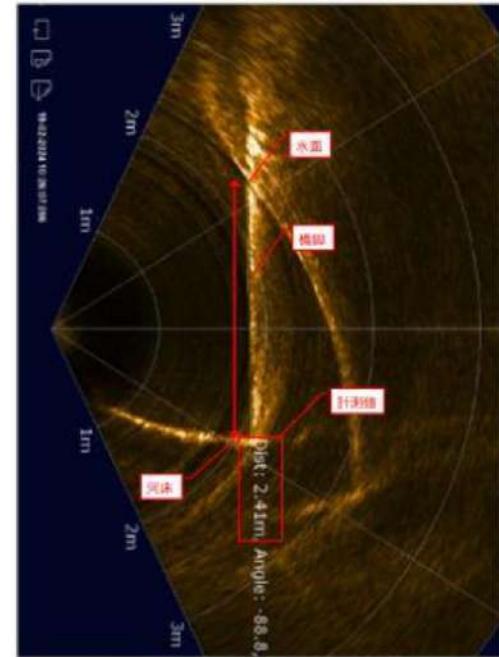
P1

流向



音響映像による計測方法

下図の測定は、測定方向に向沿した航高波によりともうれ橋脚周辺の音響映像である。
また測定の複数枚は河床から河床までの前傾を計測することで水深を計測する。

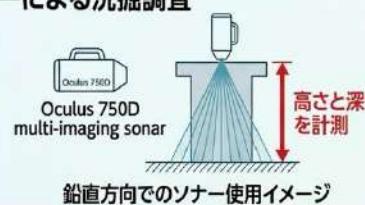
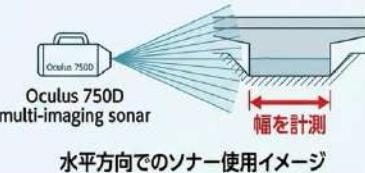


技術登録実績 2) 橋梁点検支援技術カタログ

橋梁点検支援技術
国土交通省 橋梁点検支援技術カタログ掲載

技術番号: BR030060-V0125
技術名称: 水中自航型ロボット(水中ドローン)による橋梁の洗掘点検支援技術

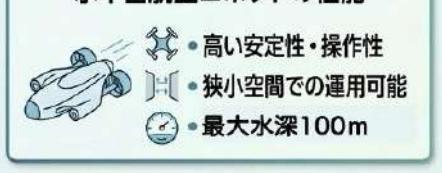
2Dイメージングソナーによる洗掘調査



水中カメラによる目視点検



水中自航型ロボットの性能



技術番号: BR030060-V0125

技術名称:

水中自航型ロボット(水中ドローン)による橋梁の洗掘点検支援技術

国土交通省が橋梁点検の支援技術として正式にカタログ掲載

- 2Dイメージングソナーによる洗掘調査
- 濁水環境下でも計測可能
- 橋脚の安全性評価に貢献

FIFISH V6PLUS +2Dイメージングソナー(oculus M750d)

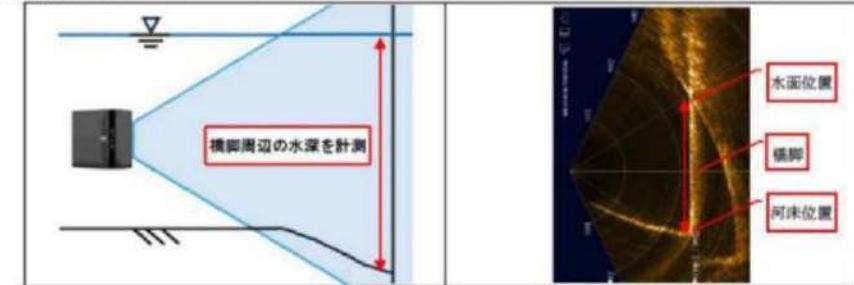
計測・モニタリング技術

(橋梁)

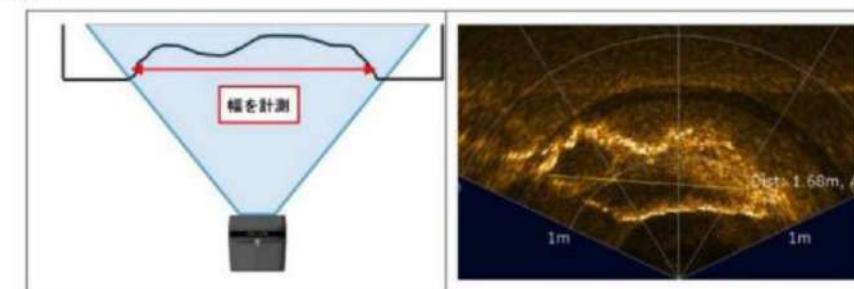
超音波のパルス信号を水中に発信し、反響を受信して音響映像として出力する。寸法の計測は、超音波の反響を受信するまでの時間と音速との相関により計算される。対象に対して水平方向と鉛直方向にそれぞれ信号を発信し、水平方向では幅、鉛直方向では高さ及び深さの計測を行う。信号の水平または鉛直方向切替は、機体の横方向回転にて行う。



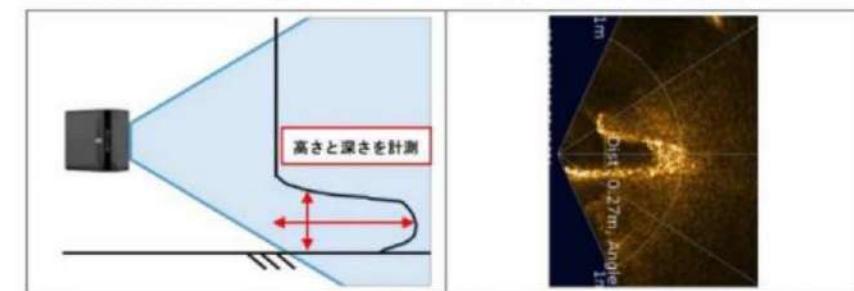
洗掘調査イメージ



変状の計測イメージ



水平方向でのソナー使用イメージ



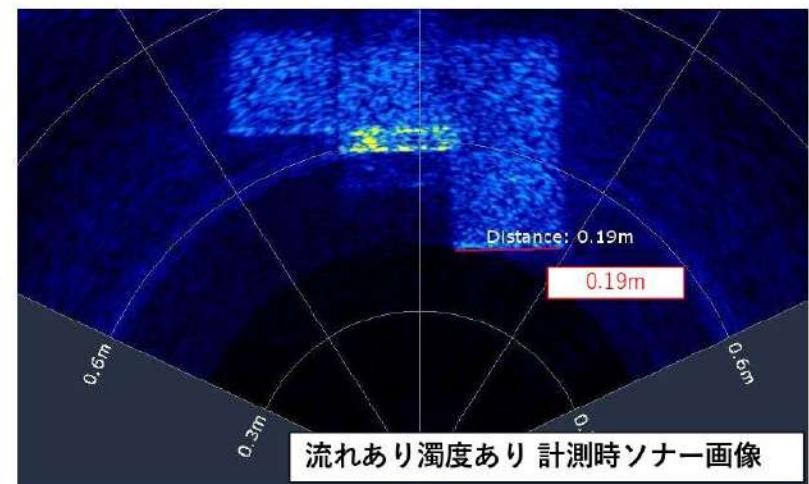
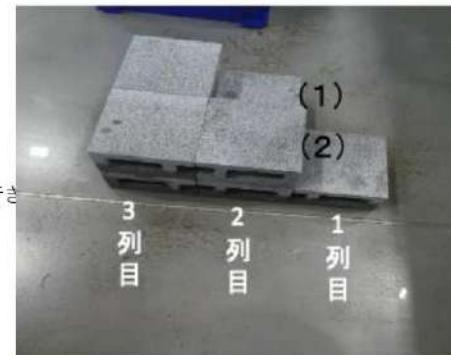
鉛直方向での音響映像イメージ

FIFISH E-MASTER NAVI + 2Dイメージングソナー

悪環境下での計測 運用実証

(流れあり濁度あり)

写真図(a方向)



水中ドローンを活用した 水深マッピング（GPS LOCATOR + DVL）

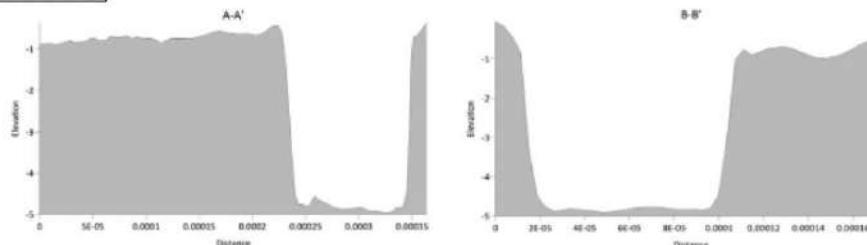
FIFISH E-MASTER NAVI + GPS LOCATOR + DVL

水深マッピング (等深線図・断面図)

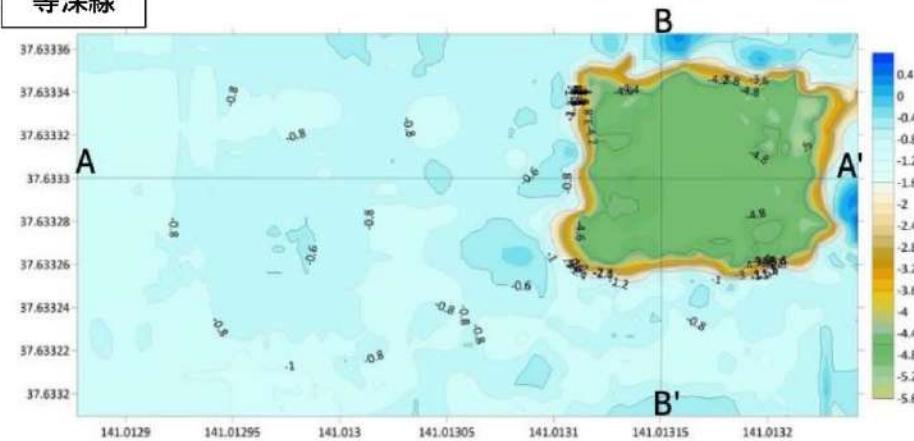
撮影エリア



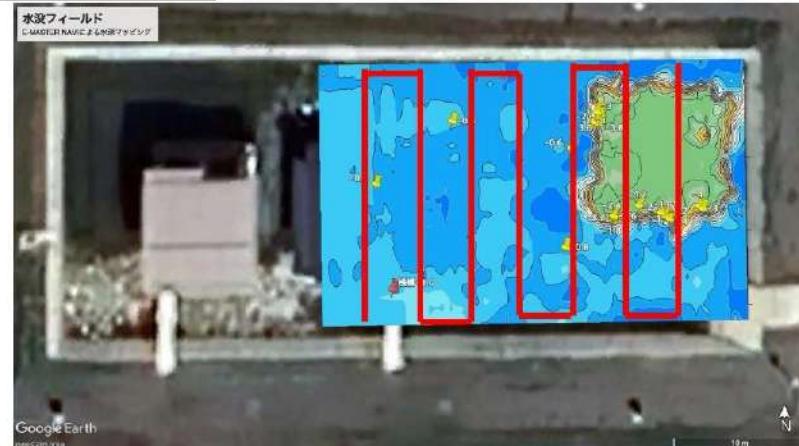
断面図



等深線



Googlemap等深線



水中ドローンを活用した 漏水・地質調査

(ウォーターサンプラー/マッドサンプラー利用)

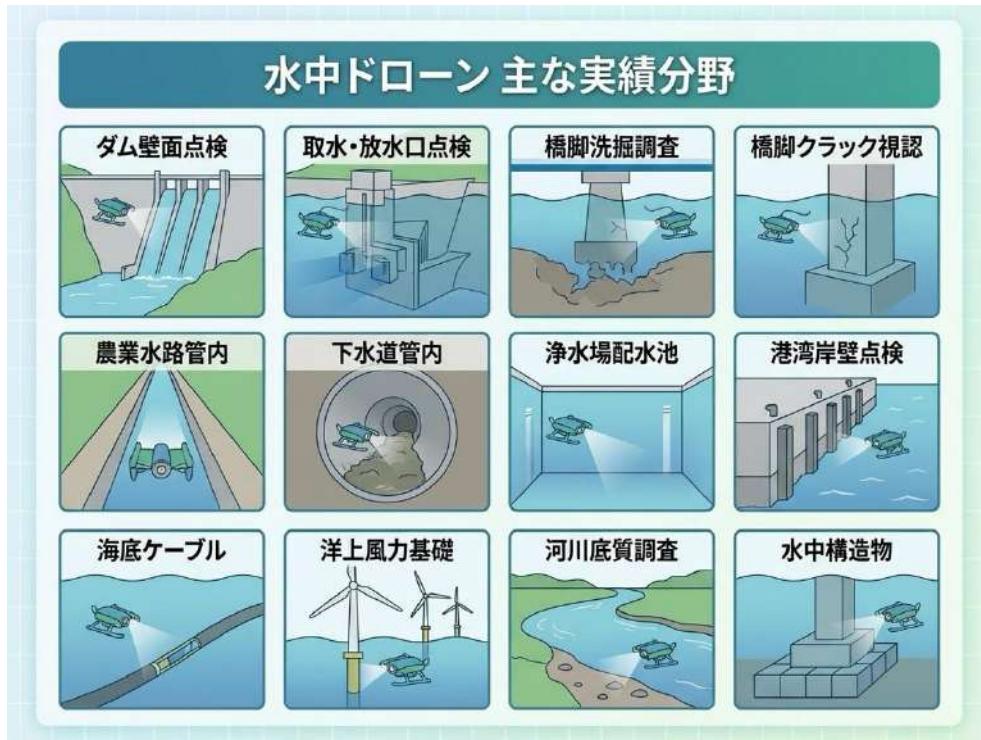
FIFISH E-MASTER NAVI + Water Sampler 100/500ml

FIFISH E-MASTER NAVI + Mad Sampler

漏水検査・地質調査



水中ドローンを活用した主な分野一覧



1. ダム壁面・取水口の点検
2. 橋脚の洗掘調査
3. 農業用水路・管路内調査
4. 下水道管内の撮影(※処理水のみ)
5. 浄水場・配水池の点検
6. 港湾構造物の水中部点検
7. 工場排水路の堆砂調査
8. 洋上風力発電基礎の点検
9. 養殖場のモニタリング
10. 海底地形調査
11. 水難救助・捜索
12. 環境調査(水質・藻場)
13. 災害時の緊急調査

引用:「水中ドローンを取り巻く状況の変化と課題」PDF、日本水中ドローン協会の活用分野紹介など

全国対応可能・当社サービス事業内容



埼玉本社 | 福岡営業所・札幌営業所の拠点を新設いたしました

全国対応可能 | デモンストレーション潜航・現場請負業務のご相談も承ります(出張費等お見積もり致します)

主な実績一覧(抜粋)

水中ドローンでの点検調査 実績一覧(概要)

昨年度実績

対象施設	概略内容	調査範囲
ダム	ゲート戸当り点検	戸当り部
ダム	取水スクリーン点検	取水口スクリーン
ダム	取水口内部点検	ゲートからスクリーンまで
ダム	ダム下流エプロン部洗掘調査	着岩部 約200m ²
ダム	ダム上流堤体、護岸調査	着岩部 約500m ²
農業用水	サイホン水中部点検	BOX 1500×1500 延長約550m
農業用水	導水管内点検	管内全面 ϕ 1500mm延長600m
農業用水	水路トンネル内点検	水中部及び気中部 約750m ²
工業用水	導水管内点検	管内 ϕ 1200mm延長700m

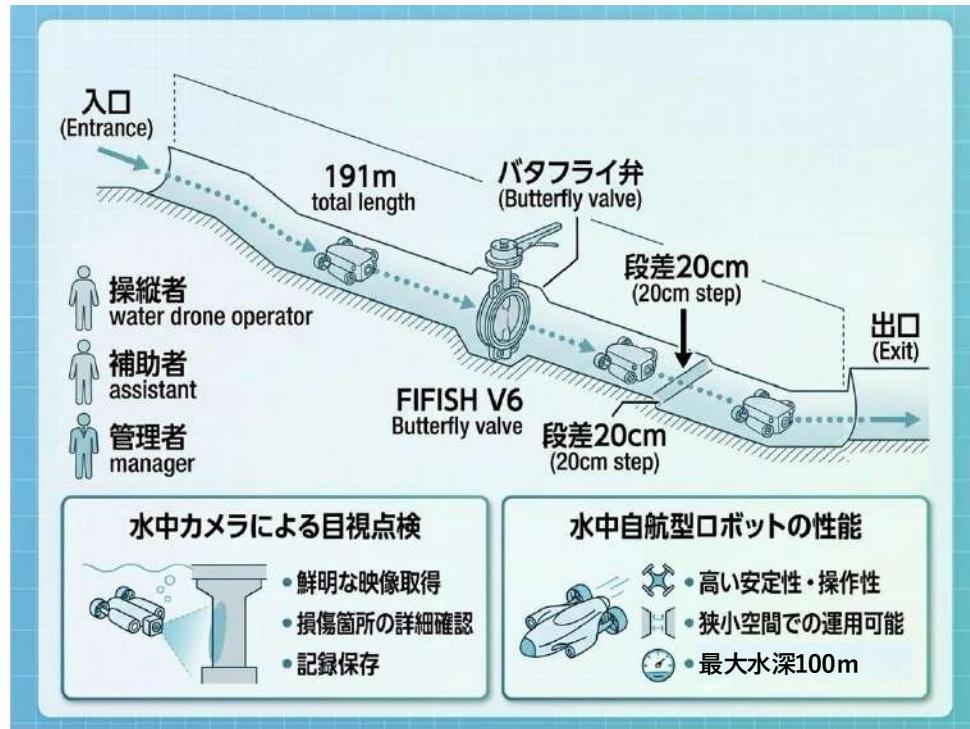
主な実績一覧(抜粋)

河川	護岸点検（実証実験）	護岸底部 延長約300m
河川	樋門点検（実証実験）	函体及び取付水路 延長約500m
河川	堰付帯水路漏水調査	目地毎変状確認
河川	河川トンネル点検	延長約500m
上水	タンク内点検	タンク内
上水	配水池内点検（実証実験）	配水池内部
上水	取水施設点検	取水塔スクリーン
上水	導水管内点検	管内全面 $\phi 550\text{mm}$ 延長200m
下水	処理水配管内点検	管内全面
港湾	岸壁点検（実証実験）	岸壁任意箇所
港湾	湾内橋脚点検（実証実験）	橋脚水中部
水産関連施設	海水導水管内点検	管内全面 $\phi 550\text{mm}$ 延長200m
工場	構内排水路管内点検	底部堆砂量推定 延長400m

※ 1日あたりの調査可能数量は、濁度や流速などの条件により異なります。

※濁度5度以下且つ流れの穏やかな好条件の場合で、およそ1000m³/日です。

活用事例① 農業用水路191m潜航点検（国内初）



株式会社ヒューテック様 ご協力事例

長野県内 | 農業用水路管内点検

■ 現場概要

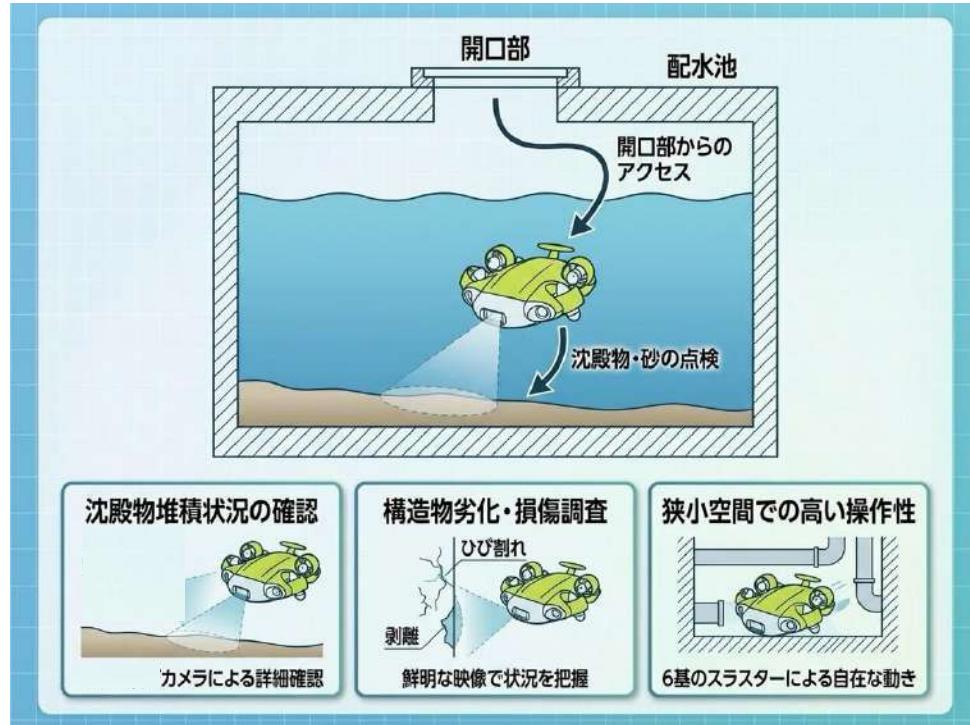
- 対象：農業用水路管内
- 距離：191m（バタフライ弁通過含む）
- 課題：段差（20cm）があり、小型カメラ車では通過困難

■ 得られた成果

- 国内初の100m以上潜航実証
- バタフライ弁の通過成功
- 管内状況の全体把握が実現
- 安全性の確保（人が入らずに点検完了）

■ お客様の声：「100m以上の水中点検実証は国内初の試みでありました。株式会社ジュンテクノサービス様へオペレーションを依頼し無事にバタフライ弁の通過も成功。管内の状況も把握でき、安全に調査を終える事ができました。」（株式会社ヒューテック 代表取締役 富田 賢司様）

活用事例② 配水池の事前点検（水を抜かずに実施）



株式会社水みらい小諸様 ご協力事例

小諸市 | 配水池の事前点検

■ 現場概要

- 対象：配水池（複数箇所）
- 目的：定期点検・清掃前の事前状態確認
- 機種：FIFISH V6
- 水を抜かずに配水池内部を撮影
- 堆積物・付着物の状態確認
- 各配水池の「ランク付け」判断材料を取得

■ 得られた成果

- 水を抜かずに事前点検が可能
- 人が入らず安全に実施
- 配水池ごとの状態ランク付けが可能に
- 清掃の優先順位・必要性を事前判断

■ お客様の声：「水中ドローンができる範囲とできない範囲とある程度把握ができました。自社だけで各箇所の配水池のランク付けができるることは大きな進歩です。水を抜かずに人が入らず、事前点検ができることは大変心強いです。」（株式会社水みらい小諸 業務部 斎藤 和男様）

活用事例③ 水産施設の取水管点検



福島県水産資源研究所様 ご協力事例

海水取水管内部点検

■ 現場概要

- 対象：温海水および自然海水取水管
- 目的：付着生物・堆積物の状況確認
- 機種：FIFISH系
- 管内部の全体撮影
- 付着生物(カキ類、ヒトデ類等)の確認
- 堆積物の状況確認

■ 得られた成果

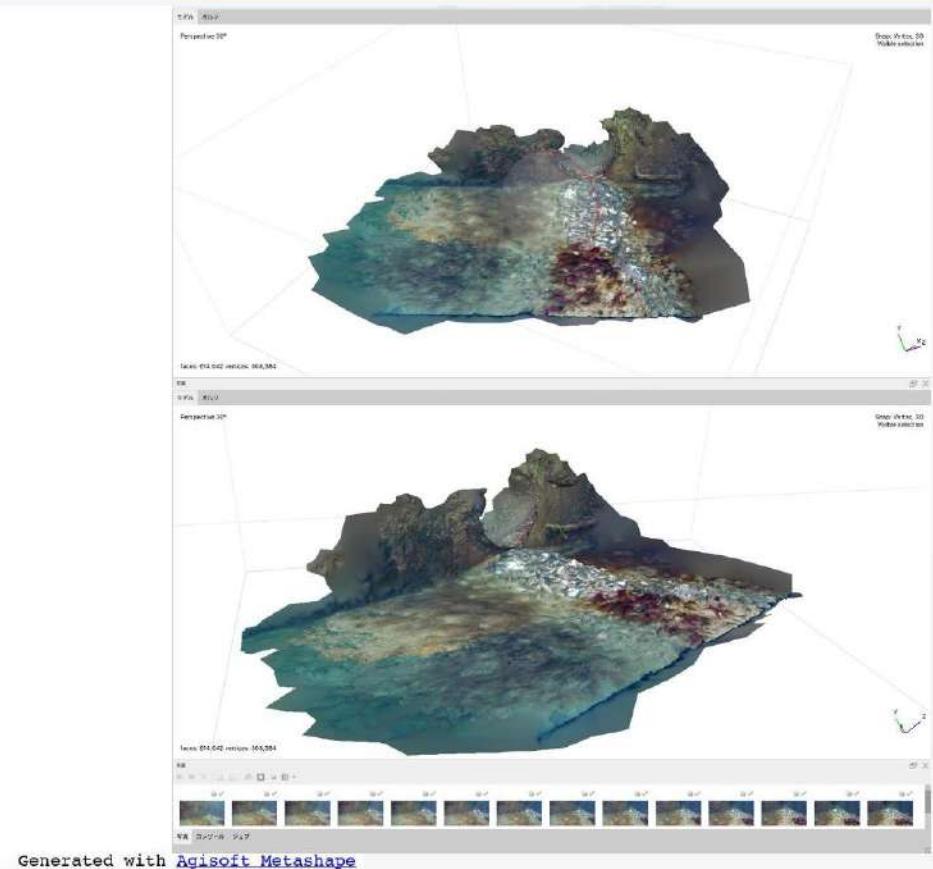
- 未調査だった管内部の状況を可視化
- 付着生物の種類・個体数を確認
- 継手部の間隔異常を発見(漏水リスク)
- 今後の対策を練る判断材料を取得

■ お客様の声：「管内部にカキ類等の貝類や、ヒトデ類等の付着生物が確認されたが、個体数は少數でした。着水槽内に貝殻等の堆積物も確認され、その他変状として、継手部の間隔異常も見ることができました。」(福島県水産資源研究所 種苗研究部 佐久間 徹様)

自然海水 取水管

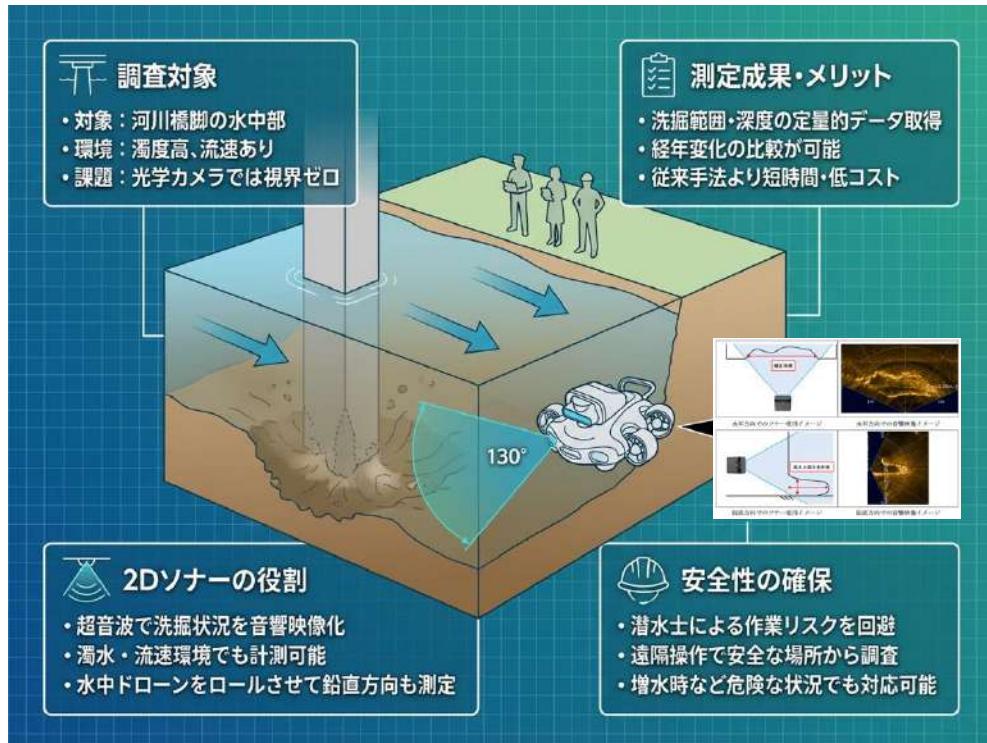


撮影データ作成例



Generated with [Agisoft Metashape](#)

2Dソナー活用事例① 橋脚洗掘調査



①濁水環境でも計測可能

- 光学カメラでは視界ゼロの環境でも対象物を可視化
- 超音波で水中構造物の形状を把握

②3次元的な寸法計測

- 水平方向：幅の計測(130°範囲)
- 鉛直方向：高さ・奥行きの計測
- 水中ドローンを回転させて照射方向を切替

③主な活用シーン

- 橋脚の洗掘調査(深さ・範囲の把握)
- 堤体・護岸の損傷確認
- 水深計測(水面から河床までの距離)

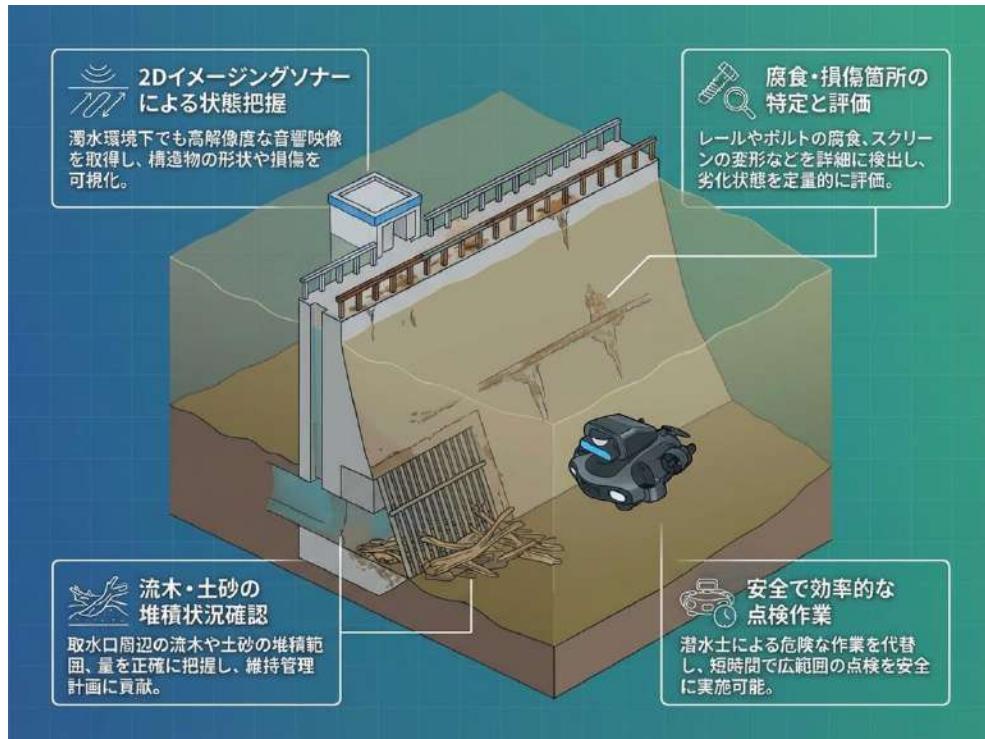
④光学カメラとの使い分け

- 濁水・暗所 → ソナーで形状把握
- 透明度が高い → カメラで詳細確認
- 併用することで総合的な点検が可能

■当社掲載の橋梁点検支援技術カタログに詳細を記載しております。

こちらをご参考ください。 <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000029.000048475.html>

2Dソナー活用事例② ダム堤体点検



ダム堤体・取水構造物の状態把握

①対象

ダム堤体、スクリーン・ガイドレール、取水口、
吐口周辺

②環境

濁度中～高、狭隘部、暗所

③確認項目

レールの腐食具合の視認、スクリーンのボルト・ナットのサビや腐食確認、流木がスクリーン底部に溜まっているか確認、構造物全体の損傷・変状を把握、堆積物の確認

■当社の業務の請負費用は価格表に記載しております。

こちらをご参考ください。 <https://www.jun-techno.com/business-underwaterdrone-shooting>

濁水環境では光学カメラは「見えない」→ソナーで解決



濁水・悪環境での可視映像の撮影だけでは限界がある



2Dイメージングソナーで「見える化と簡易的な計測」を実現。寸法測定データをリアルタイムで取得・損傷・変状を定量的に評価ができる

2画面同時表示の利点・光学カメラとソナーを同時に確認・視界不良時でも作業継続が可能・効率的な点検作業を実現

使用する機材一覧

ダム・河川・工業用水・農業用水などの管路等で使用している機材です。
環境に合わせて機材を変更いたしております。

エントリーモデル



FIFISH V-EVO

プロシューマモデル



FIFISH V6 EXPERT

プロシューマモデル



FIFISH V6 PLUS 販売終了品



FIFISH E-GO

プロシューマモデル



FIFISH E-MASTER NAVI

FIFISH E-MASTER PLUS



FIFISH W6 MAX

プロモデル

小回りのきく産業機、計測・自律潜航に特化
FIFISH E-MASTER NAVI



AI測定(AR測量)

- ・AR測量機能を標準搭載
- ・レーザースケーラー不要



ソナー&Q-DVL

- ・前方・底面2方向Q-DVL
- ・底面シングルビームソナー



正確な位置情報

- ・GPSで水上位置を測位
- ・Q-DVLで水中位置を補正



航行・安定性能

- ・6軸姿勢制御
- ・自動水深維持
- ・自動方位維持

FIFISH E-MASTER NAVI

■ 主要機能

Q-DVLホバリングシステム：水流がある環境でも安定

水中自動ナビゲーション：自動潜航、POI、ルート計画

AI測定：レーザーポインターとARスケーラーで計測

3Dマッピング：自動潜航で3Dマッピングデータ取得

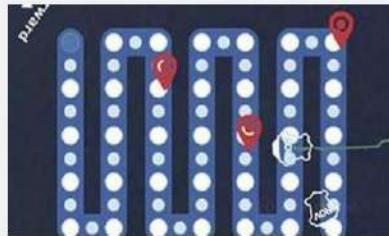
前方・下方Q-DVL：側面・底部の撮影補助

レーザースケーラー：10cm基準点での距離測定

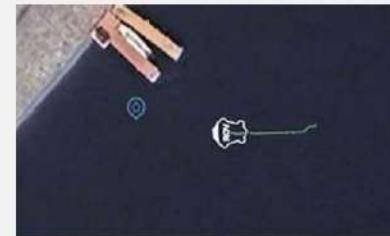
下方ソナー：音波で周囲の情報取得

リングティングモーター：運動効率50%向上、最大3ノット対応

FIFISH E-MASTER NAVI 水中自動ナビゲーション



ルート設定



リターン・トゥ・ホーム



軌跡記録



カスタムマップ



記録ポイント設定



リアルタイムルート確認

実地試験



機体本体 + GNSS装着



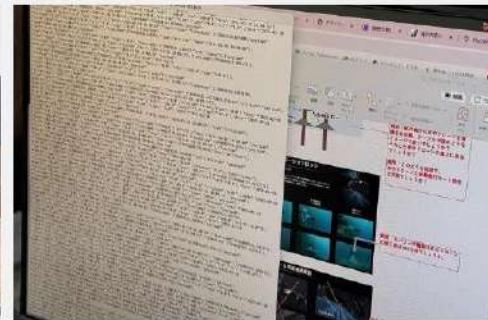
潜航開始



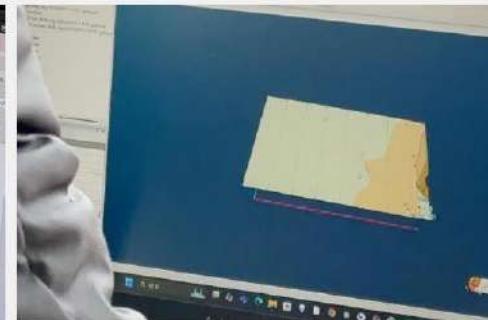
自動潜航の作成



人の手の介入なしで操作



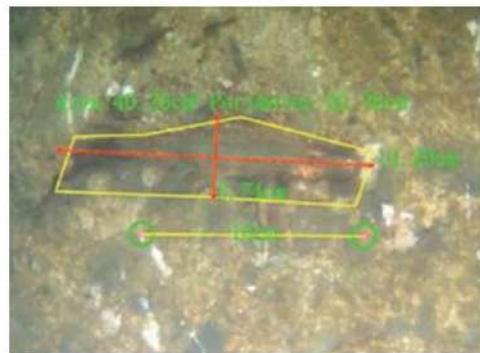
ログの解析データ



等高線・3D 地表マップで分析

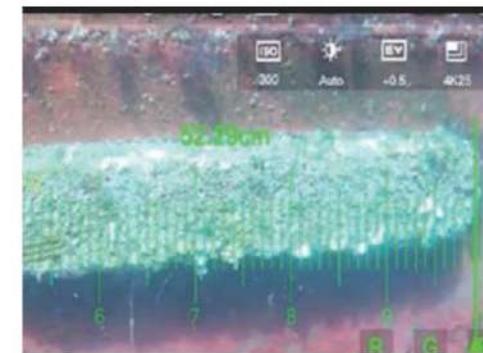
FIFISH E-MASTER NAVI AI測定 リアルタイム計測

FIFISHシリーズの水中ドローンシリーズの中でもAI技術を使用した測定・計測にこだわった機体の高度な特徴を説明いたします。



高精度測量

直線だけでなく、多角度・多形状でサイズを計測することができます。



AR測量

水中映像からリアルタイムにAR技術を使用して対象物のサイズをおおまかに測ることができます。



QY-MT AI測定ツール (ソフト)

メーカー専用のソフトウェアを使用して、撮影したデータからミリ単位で対象物の詳細サイズを計測することができます。

FIFISH E-MASTER NAVI 水中測定ツール 2D &3D海底マッピング

自動潜航の計画作成

1	ing	lat	depth	x	y
2	118.0525	25.925258	-3.46	131.415442989826.7	
3	118.0525	25.925258	-3.44	131.415442989826.7	
4	118.0525	25.925258	-3.46	131.415442989826.7	
5	118.0525	25.925258	-3.43	131.415442989826.7	
6	118.0525	25.925258	-3.45	131.415442989826.7	
7	118.0525	25.925258	-3.45	131.415442989826.7	
8	118.0525	25.925258	-3.45	131.415442989826.7	
9	118.0525	25.925258	-3.44	131.415442989826.7	
10	118.0525	25.925258	-3.43	131.415442989826.7	
11	118.0525	25.925258	-3.43	131.415442989826.7	
12	118.0525	25.925258	-3.44	131.415442989826.7	
13	118.0525	25.925258	-3.46	131.415442989826.7	

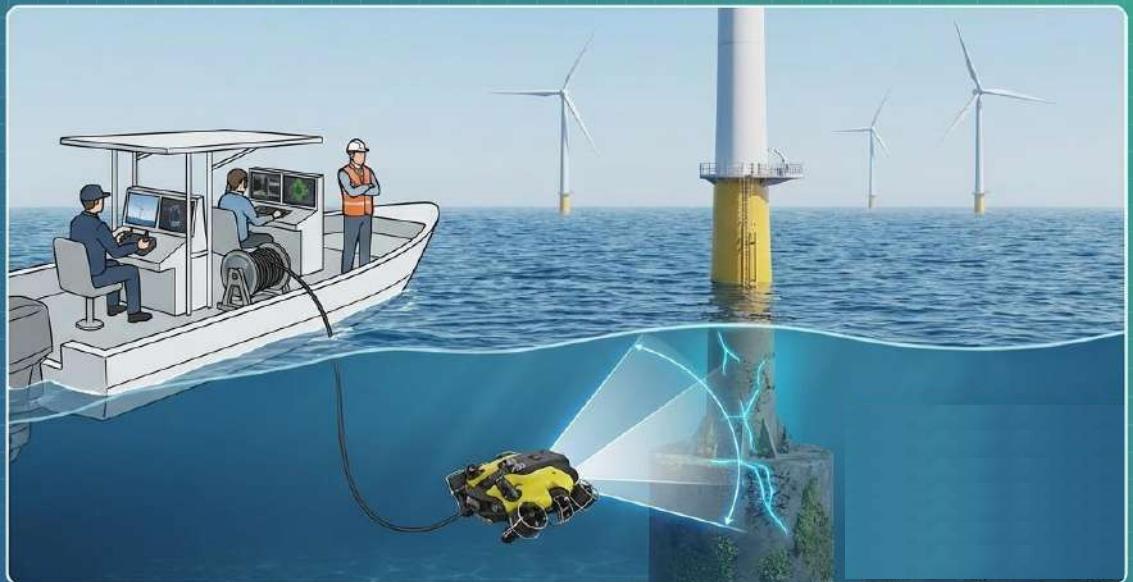
潜航ログデータ

等深線の表示

自動的に水深データを収集

データをエクスポート & アップロード

カスタマイズ可能な2D/3Dマップ



①DVLホバリング

水流がある環境○
深度のある点検作業○
大型構造物○

②有線給電システム

電池残量を気にしない
作業時間の短縮
有線なのでロストなし

③豊富な拡張性

ロボットアーム装着
ソナーの装着
追加カメラを装着
モーターパワーUP
素早く対象物へ移動
流速に負けない強さ

④作業効率の向上

FIFISH W6 MAX (有線給電+DVL)

■ 主要機能

DVLソナー搭載：流速の速い環境で定点保持が可能

強力な推進力：前進4.5ノット、高流速環境に対応

有線給電：400m有線ケーブルで長時間連続稼働

広範囲点検：作業効率良く広いエリアを撮影

デュアル4Kカメラ：メインカメラ・サブカメラ付

最大水深350m：深い深度も対応可能

拡張性：各種オプションツール搭載可能

FIFISH 拡張ツール 事例

オプションツール①

拡張性高いPROシリーズのオプションツールの一覧です。

点検ツール



Q-カメラ



2Dイメージングソナー



HDMI Box 2.0



送信機モニターフード



アクションカメラマウント



外付けLEDライトマウント



Edgebox
(遠隔操作ツール)

測量ツール



二重定規クリップ



レーザースケーラー



距離ロックソナー



高さロックソナー



超音波厚さ計



ハイドロфон

オプションツール②

ナビゲーションツール



UQPS水中測位システム



USBL測位装置



DVL定点保持システム

マニピュレータツール



ロボットアーム



カラビナフック



除去アーム



たも網



水中ドーザー

サンプリングツール



ウォーターサンブラー
(100ml)



ウォーターサンブラー
(500ml)



溶存酸素センサー



塩分センサー



濁度センサー



pHセンサー



マッドサンブラー

※予告なく外観・仕様等変更になる場合がございます。

使用が多いオプションツール



2Dソナー・
計測用アーム

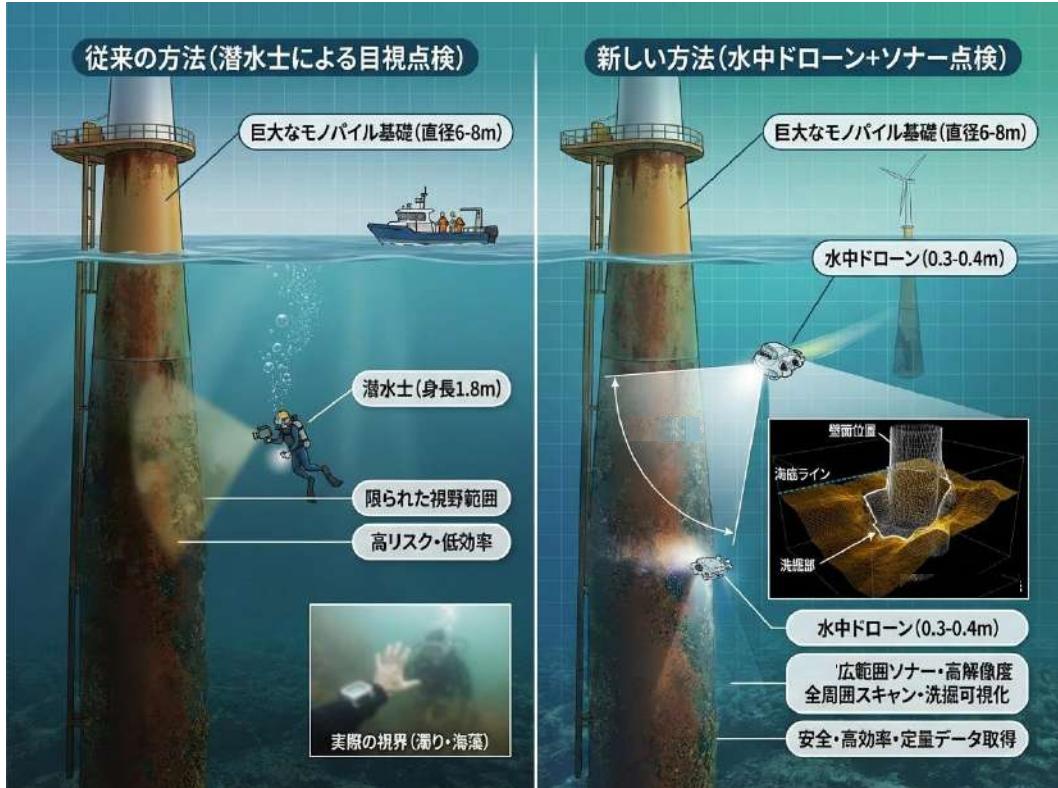


2Dソナー・レーザー



2Dソナー・計測用アーム・DVL

水中ドローンの導入効果のまとめ



安全性の向上

- ・潜水士の危険作業を減らす
- ・高所、深所、有毒ガス作業のリスク軽減

コスト削減

- ・施設の水抜き作業が不要

調査品質の向上

- ・4K高精細映像で詳細確認
- ・2Dソナーで濁水環境も可視化
- ・データ保存で経年変化を追跡

作業効率の改善

- ・広範囲を短時間で調査
- ・リアルタイムで状況確認
- ・繰り返し調査が容易
- ・即座にデータ共有可能

その他の最新情報



水中ドローンリース・レンタルサービス

産業機をリースで導入する

サンプル価格

【ご参考】水中ドローン リース料（3年契約）

※価格は全て税別

#	項目	セット①	セット②	セット③	セット④	ソナー単体
1	機種	FIFISH E-GO BT set	FIFISH V6 Plus	FIFISH E-MASTER	FIFISH W6 300M	FIFISH PRO 2Dイメージングソナー
2	仕様 (リース料に含まれる物件)	①FIFISH E-GO BTセット ②FIFISH E-GO スラスター/プロテクター (6個)	①FIFISH V6 Plus	①FIFISH E-MASTER NAVI ②FIFISH E-MASTER 専用BT (2個)	①FIFISH W6 300M (LASER SCALER) ②FIFISH W6 スラスター/プロテクター (6SET) ③FIFISH W6 BT (388wh)	①FIFISH PRO 2Dマルチビーム イメージングソナー ②取付キット (E-GO)
3	物件代金	¥1,200,700	¥2,080,000	¥3,180,000	¥5,796,000	¥7,427,000
4	リース期間	36ヶ月	36ヶ月	36ヶ月	36ヶ月	36ヶ月
5	月額リース料	¥73,900	¥110,700	¥156,700	¥308,700	¥310,800
6	総額リース料	¥2,660,400	¥3,985,200	¥5,641,200	¥11,113,200	¥11,188,800
7	固定資産税	○				○
8	リース契約の内容	動産総合保険	○			○
9		賠償責任保険	×			×
10		メンテナンス費*	○			×
11		納品費用	×			×
12		引揚費用	×			×
13		残価設定	0円 (契約満了後は2次リース、もしくは返却となります。)			

※リースお申込みには与信審査が必要となり、与信審査の結果リース契約をお断りする場合がございます。

*メンテナンスの内容

1	E-GO, V6 Plus E-MASTER	通常基本点検（各部動作確認、プールでの漏水確認、FWアップデート、カメラ機能確認、傷や摩耗チェック、送信機点検、充電器点検等）、 本体分解内部洗浄、コネクタリング交換、修理作業15%割引、テザーケーブル目視チェック
2	W6	通常基本点検（各部動作確認、プールでの漏水確認、FWアップデート、カメラ機能確認、傷や摩耗チェック、送信機点検、充電器点検等）、 コネクタリング交換、修理作業15%割引、テザーケーブル目視チェック
3	共通	スラスター（ペラ）、モーター交換2か所まで含む ※メンテナンスのための機材配送費用は含みません



水中ドローン技術者育成（ドローンスクール）
School Award 4年連続受賞

2019年より、水中ドローンスクール埼玉校として【一般社団法人日本水中ドローン協会】へ加盟しております。2021年から昨年まで4年連続で人材を多く輩出した校舎としてSchool Awardを受賞いたしております。



QYSEA社製 水中ドローンの修理・故障

株式会社ジュンテクノサービスでは、QYSEA (FIFISH) 製品に限り国内の修理サポートセンターとしてご購入者様の機体の定期メンテナンス・万が一の故障対応を致しております。

対象製品

FIFISH V6

FIFISH V6S

FIFISH V-EVO

FIFISH V6 EXPERT

FIFISH E-GO

FIFISH E-MASTER/E-MASTER NAVI

FIFISH V6 PLUS

FIFISH W6/W6 MAX



賠償責任保険

点検中に撮影対象物のタンクに衝突。
修理費用が発生してしまった。

賠償責任保険で**85万円**をお支払い

機体保険

点検中に撮影対象物のタンクに衝突。
機体が破損して20万円かかってしまった。

機体保険で**21.1万円**をお支払い

お得に、安心の保険に入ろう！

一般社団法人
日本水中ドローン協会
Japan Underwater Drone Association

一般社団法人日本水中ドローン協会の「水中ドローン安全潜航操縦士資格」を保有の方は賠償責任保険、機体保険が**20%割引**となります

保険料
20%
割引

「水中ドローン安全潜航操縦士」へ保険料20%割引の適用

賠償責任保険・機体保険

水中ドローン安全潜航操縦士認定講習を修了し、ライセンスが発行・付与された方が各種保険へ加入の際、20%割引となります。

代理店：エアロエントリー株式会社

革新的な技術と持続可能な未来で、 豊かで安心な暮らしを支えます

当社は、最先端の技術革新を通じて安全で持続可能なインフラづくりに取り組んでいます。私たちは、地域社会やお客様のニーズに応え、環境に配慮しながら、より豊かで快適な暮らしを提供することを目指しています。これからも信頼されるパートナーとして、皆様の生活を支えるために尽力してまいります。

お問い合わせ先

株式会社ジュンテクノサービス
担当：佐々木

Email : m_sasaki@jun-techno.com